

2024年度 個人研究実績・成果報告書

2025年 5月 7日

所属	国際教養学部	職名	専任講師	氏名	ベリー ブライアン デビット
研究課題	Reconciliation Through International Education Opportunities				
研究キーワード	International Education, Reconciliation, Student Communication, Japan, East Asia	当年度計画に対する達成度		2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた	
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	16. 平和と公正をすべての人に	5. ジェンダー平等を実現しよう	10. 人や国の不平等をなくそう	

1. 研究成果の概要

研究が完成し、研究論文(24 ページ)を書きました。投稿に申請中です。
アブストは以下となりました。(電気通訳その以下に添付いたしました)

This research examines and combines theories on grassroots reconciliation to propose a four-step model for undergraduate international study abroad exchange programs; more specifically, to provide the fundamental framework for a pilot research project to investigate how Japanese university exchange programs may provide a supportive environment for reconciliation to take place between domestic Japanese students and those from neighboring countries—such as mainland China. Upon construction of a four-step theoretical model, six facets of the international student experience in Japan are presented as a possible approach to isolate aspects of the exchange experience that should be considered for evaluation. Finally, methodological considerations are discussed, as well as several possible application considerations of reconciliation theories. These are presented in hopes of contributing to future research and case studies on international education programs in Japan and the reconciliation opportunities within.

(通訳文：

この研究は、草の根レベルでの和解に関する理論を検討・統合し、学部レベルの国際留学交換プログラムのための4段階モデルを提案するものである。より具体的には、日本の大学における交換プログラムが、国内の日本人学生と中国本土など近隣諸国からの留学生との間で和解が進むための支援的な環境を提供できるかを調査するパイロット研究プロジェクトの基本的な枠組みを提示することを目的としている。4段階の理論モデルを構築した上で、日本における留学生の経験に関する6つの側面を提示し、交換プログラムの中で評価すべき要素を明確にするためのアプローチを示す。最後に、方法論的な検討と、和解理論の応用に関するいくつかの可能

性についても論じる。これらは、日本における国際教育プログラムとその中での和解の機会に関する今後の研究や事例研究への貢献を意図して提示されている。)

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文(査読あり)】

COISAN というジャーナルに投稿して見ましたが、出来ませんでした。その変わる EJCJS に投稿するために送りました、投稿結果は6月に決定されます。現在の状態は Pending final decision です。

【著書・論文(査読なし)】

6月に結果は決定されます。

【学会発表等】

休職の影響で行けなくなりました。

3. 主な経費

①Precision3360 タワーワークステーション (カスタマイズ) ￥272,898

②Dell27 USB-C モニター S2722DC ￥34,569

合計金額: ￥338,213

4. その他の特筆すべき事項(表彰、研究資金の受入状況等)

(本文は2ページ以内にまとめること)